

理事会最新情報 2023年7月

7月11日、理事会はコーディネーターとコーディネーター・イン・トレーニングとのミーティングを開き、"フェルトセンス"という用語だけでなく、"フォーカシング"という用語の自動翻訳について、私たち全員が直面している課題について話し合いました。コーディネーターたちは、"フォーカシング"を大文字にしてその独特の意味を示したり、"ジェンドリンのフォーカシング"という言葉を使ったりするなど、自分たちが使ってきたいくつかの戦略を分かち合いました。話し合いは、コーディネーターが母国語で英語と同じ意味や感覚を持つ言葉を見つけようとするときに直面する難しさについてまで広がりました。多くの場合、"フェルトセンス"のような元の英単語を使うことが、翻訳するよりも特別な意味を伝えるのに最も効果的です。私たち TIFI 理事会のメンバーは、私たちが直面する課題について話し合い、アイデアを出し、課題を共有したことにとっても感謝しています。私たちは、自動翻訳と人間による翻訳の両方の問題にどのように対処すべきか、共に学ぶことができたことに感謝しています。理事会は、TIFI がウェブサイト上で試みる様々なアプローチについて引き続き議論し、ネイティブ・スピーカーから、彼らの言語で最も効果的と思われる戦略についてフィードバックを得る予定です。コーディネーターまたはコーディネーター・イン・トレーニングの方は、[focusing.org](https://www.focusing.org) のコーディネーター専用ページでその会議の録画を見ることができます。

7月の TIFI 理事会では、7月11日のコーディネーターとのミーティングの振り返りに加え、ジェンドリン・センター運営委員会の推薦により、ドナタ・シェラー博士をユージン・ジェンドリン体験的哲学・心理学研究センターのメンバーとして再び任命しました。ドナタ博士はジェンドリン研究者として卓越したキャリアを持ち、TIFI での彼女の講座は最も人気のある講座のひとつです。彼女は以前、ジェンドリン・センター委員会の初期からのメンバーで、その後退任していますが、今回復帰できることになりました。

理事会と ILC のコミュニケーションを強化するため、理事会の議題と議事録を ILC 会員に送付しています。そして隔月の理事会には、ILC のメンバーの一人が派遣されます。これにより、理事会と ILC の歴史的な役割や、必要と思われる変更について話し合う機会を得ることができます。今月は、ローラ・ババリックスが ILC 代表として参加してくれました。両グループとも、こうした交流の増加が非常に役立っていることに同意しています。

最後に理事会は、キャサリン・トルペイ事務局長から第 2 四半期の財務および進捗状況について報告を受けました。理事会は、スパークス基金からの寛大な助成金と、皆様からの多くの個人的なご寄付のおかげで、ジェンドリン・オンライン・ライブラリーが、研究所サイト [focusing.org](https://www.focusing.org) に無事に移行完了したことを喜んで祝いました。

TIFI の会員の皆様、引き続きご支援をお願いいたします。いつでも board@focusing.org までご連絡ください。また、focusing.org/board で最新情報をご覧ください。

(訳：酒井久実代)